

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

八幡の夏に響く掛け声

太鼓まつり 7月12、13日

7月12日、13日に八幡の夏の風物詩「太鼓まつり」が開催されました。石清水八幡宮の摂社・高良神社の例祭にあたるこの祭りは、江戸時代後期に町衆が始めたと言われる八幡の伝統行事。太鼓を載せた大きなみこし「屋形太鼓」が町内ごとに造られ、太鼓を打ち鳴らしながら練り歩く様子は、今も変わらず多くの人々を魅了しています。まつりに先駆け、9日は、男山中学校「第39回校内たいこ祭り」が開

催。同校の生徒315人をはじめ、校区内の八幡・中央小学校の6年生児童、南ヶ丘・南ヶ丘第二保育園、やわたこども園の園児も参加しました。小・中学生は、地域の人の協力で子どもたいこを担ぎ、校内グラウンドを往復して会場を盛り上げました。まつり期間中は法被姿の担ぎ手たちが、約2トもある屋形太鼓を担いで町内を巡行。太鼓の音に合わせ、「ヨッサー、ヨッサー」と威勢の良

小中学生盛り上げに一役

男山中学校区で7月9日

い掛け声を響かせていました。13日の夕方からは、屋形太鼓4基に加え、子ども太鼓3基が高良神社



勇壮に参道を練り歩く担ぎ手たち

子どもたいこを担いで練り歩く男山中学校の生徒



不調を予防する体操／日ごろの疑問を相談

コナミのインストラクター

運動習慣のコツ教室

7月15日、コナミスポーツクラブ八幡で、運動が続くコツを学ぶ「運動習慣のコツ教室」が実施されました。同教室は、運動習慣の定着を目的とした取り組みで、スポーツクラブのインストラクターの指導のもと開催。教室には20人が参加し、体の

不調を予防する体操や、柔軟をメインとしたストレッチを実践しました。また当日は、インストラクターへの質問タイムもあり、参加者が日ごろの運動に関する疑問を気軽に相談する様子も見られました。教室のまとめでは、必ず続けてほしい腹筋、背中、肩甲骨に

効く3つのトレーニングを紹介。短い時間でも継続することの大切さを参加者に伝えました。慣れない運動に悪戦苦闘する姿も見られましたが、終始和やかな雰囲気の中、楽しみながら体を動かしていました。

参加者募集中

9月に橋本公民館、カーブスファミレやわた、美濃山コミュニティセンター（各回20人）で実施予定です。15面記載の教室の詳細をご覧ください。



ストレッチを行う参加者の様子

今月のこの人

地域社会に貢献 京都府から表彰

自治会や民生委員 20年以上

「仕事を引退するまでは、地域社会活動はほとんどしてきませんでした」と語る本郷俊明さんは、20年以上にわたり、自治会や民生委員など、数多くの地域社会活動に取り組んできました。

その一つである京都府社会福祉審議会委員での長年の活動が認められ、6月19日に行政委員会等委員功労表彰を受賞されました。

社会福祉審議会委員として、府のひとり親家庭の福祉充実に向けて活動するなどした本郷さんは、「様々な地域社会活動を通じて、我が事よりも他人事を優先して考えられるようになった」と話します。また「皆が自分のことで精いっぱい

京都府
社会福祉審議会委員
本郷 俊明さん



2人はいずれも6月19日京都府開庁記念日記念式典で各分野での多年にわたる活躍により表彰。

いだからこそ、一番身近な自治会での助け合いが大切」と、自治会の存在が重要と考えます。「働いている世代の考え方を取り入れ、隙間時間に参加しやすい自治会の実現が、次世代の地域社会のために大切」とし、地域とつながりのない人には「少しずつでよいので、ぜひ地域デビューしてほしい」と想いを語りました。

隊長10年 防災力向上に尽力

八幡市
女性防火推進隊長
滝川 睦恵さん

「初めは実感がなく、内容を知り驚きました」と語る滝川睦恵さんは、八幡市女性防火推進隊の隊長として、長きにわたる地域防災力向上への貢献から、6月19日に市町村・地域自治功労者表彰を受賞されました。隊長就任から10年という長い任期にも「やめたいと思ったことはなく、周囲の助けで楽しく活動できていま

す」と言います。高齢者宅への防火訪問など、地域の自治会や民生委員と連携することも多く、滝川さん自身も自治会の福祉委員として活動し、「より多くの人が住んでよかったと感じ、安全安心でにぎわいのある地域を作りたい」と想いを語ります。

「女性防火推進隊は、名前からハードルの高さを感じるとの声もありますが、まずは気軽に参加してください。専門的なことは消防署からの手厚いサポートや幅広い研修があり、心配ありません」とし「活動を通じて世界が広がり、勉強になり、仲間と楽しく交流ができます」と新たな仲間を心待ちにしています。